

令和2年度授業改善推進プラン

(取り組み内容)

- ・毎学期の終わり、自分の担当(各学年ごとに項目だてて)の授業に関して作成する。
- ・本年度の自己の研修課題に関連し、自己の授業を分析し課題を見いだす。
- ・見いだされた課題に対し改善プランを立て、指導方法の工夫・改善を図る。
- ・学期の終わりに検証を行い、来学期につなげていく。

教科名 (国語) 教科担任名 金丸 恵美

★教科・観点について

期末テスト及び学期の学習状況、生徒の授業アンケートをもとに分析し記入する。＜○成果 ▲課題＞

観点	1学期			2学期		3学期	
	学年	課題分析	具体的な改善策	学年	課題分析(授業改善・プランの1次評価)	2学期終了後の具体的な改善策	改善プランの評価・来年度にむけて
国語への関心・意欲・態度	1年			1年		Chromebookのロイロノートを使い、個人の意見が全体で共有できるようにし、意欲を高めていきたい。	
	2年	○カルテの振り返りを見ると、ほぼ100%理解していることが分かる。 ▲提出物の提出率が悪い。授業の忘れ物も多い。 ▲積極的な発言がない。	2年生は、授業の初めに持ち物の確認の時間を設け、意識を高める。3年生は、カルテを復活する。	2年	○提出物の提出率が高く、忘れ物をする人が減った。 ▲提出物の提出率や忘れ物をする人が固定化した。		
	3年	○提出物の提出率が昨年度より上がり、ほぼ100%になった。 ▲カルテをやめたので、授業の振り返りの時間が少ない。		3年	○発言をする人が増えた。		
話す・聞く能力	1年				1年		小説を劇で表現するなど、声だけではなく身体全体で気持ちを表現することから始めたい。
	2年	○写真一枚から多角的な広がりのあるスピーチができていた。 ○話し合い活動の中で、司会の役割が果たせる人が多い。	リスニングテスト以外にも、「聞く」力を高めるトレーニングをしていきたい。3年生は、話し合い活動を、丁寧に指導していきたい。	2年	○パネルディスカッションでは、反論にしっかり正対して自分の意見が述べられていた。 ▲司会が話を振らないと意見を述べない。		
	3年	○社会に向けた提言のスピーチは、内容も表現も工夫されたものが多かった。 ▲話し合い活動が、考えを広げるところまでに至っていない。		3年	○スピーチなど各段レベルアップしている。 ▲1年生の時から続けてきた4人班の話し合い活動ができなかったため、話をする人が固定化してしまっている。		
書く能力	1年				1年		3年生は卒業文集など、実生活に関わるテーマで書かせることで、内容を深めていきたい。
	2年	▲200字作文と硬筆は、時間内に書けない人が多い。 ▲文法の同じような誤りが繰り返される。	2年生は、学習の振り返りを200字にまとめ、次の授業で暗唱して発表することで、トレーニングしていく。3年生は、入試問題や小論文対策を行っている。文法のミスがある文章を読ませ、誤りを見つけるテストをしていく。	2年	○200字作文は時間内に書ける人が増えた。 ▲定期考査の問題は、白紙で出す人がある。		
	3年	○200字作文に慣れてきて、短時間で要点をまとめることができるようになった。		3年	○他の生徒と相互評価をすることにより、発想が豊かになった。 ▲構成のパターンを提示しないと書けない。		
読む能力	1年				1年		引き続き、定期考査の応用問題、対策プリントを行っていきたい。
	2年	○ノートコンテストなどに、筆者の考えから発展した自分の考えが見られた。 ○テストの結果から、8割以上理解している人が多い。	ワークなどを細目に集め、家庭学習での復習を定着させる。話し合い活動や調べ学習を通して、考えが広がるよう授業の展開を工夫する。	2年	○定期考査の応用問題や復習確認テストの結果から、読解力が高いことがわかる。		
	3年	○テストの結果から、7割以上理解している人が多い。 ▲マスクをしているから、音読の声が聞こえづらい。		3年	○対策プリントが功を奏し、7割以上理解している人が多い。		
言語についての知識・理解・技能	1年				1年		今まで学習してきた総復習問題などを解かせ、漢字の定着を図りたい。
	2年	○基礎コンテスト・漢字小テストから漢字の定着は高い。	ゲーム感覚で漢字に親しみもてるよう工夫した。「読む」教材の新出語句の調べ学習の時間しか辞書を使う時間がないので、辞書を使う作業を多くしていきたい。	2年	○漢字テストや文法のテストの結果から理解力は高いことがわかる。 ▲定着は低い。		
	3年	○臨時休業中の課題の漢字練習帳や基礎コンテストから漢字の定着が見られた。 ▲分からない漢字をすぐ教員に聞くので、辞書を引く習慣を身につけさせたい。		3年	○漢字ノートを採用したことにより、漢字練習を積極的に行うようになった。 ▲定着は低い。		
授業改善の検証方法	定期テスト、授業態度、提出物(ワーク、作文、プリントなど)、小テスト、聞き取りテスト、スピーチ、授業アンケートなど			定期テスト、授業態度、提出物(ワーク、作文、プリントなど)、小テスト、聞き取りテスト、スピーチ、授業アンケート			
研修課題(キャリア教育に関連した教科としての取組)	研修課題に対する教科としての具体的な実践方法	1学期の成果と課題	1学期の結果を踏まえた具体的な実践方法及び追加内容	2学期までの成果と課題	1年間の成果と今後の課題		
・基礎学力コンテストへの継続した取り組み ・ノートコンテストによる活動の評価 ・課題解決型の授業の構成と話し合い活動	・基礎コンテストを8割できなかったの生徒に、放課後個人的に再テストをした。 ・ノートコンテストを提出できない生徒に、放課後個人的にフォローした。 ・課題解決型の授業を目指すため、授業の初めの発問に多様な意見が出るよう工夫した。	・考査前の対策プリントは、生徒の関心・意欲の向上につながった。 ・ソーシャルディスタンスをとらなければならず、グループ活動が円滑に進まなかった。 ・生徒の授業アンケートにより、作文を書く時間を延ばしてほしいとあったので、適宜配慮していきたい。	・授業の持ち物、提出物の期限など、教員だけではなく、国語係の生徒からも喚起させるようにした。 ・定期考査に初見の読解問題を出題するようにし、国語力を正確に測れるよう工夫を凝らした。	・忘れ物をする人や提出物の提出率が改善された。 ・応用問題に取り組める人と取り組めない人で格差が出てしまった。 ・授業アンケートから授業の速さの指摘がありましたので、単元ごとに計画的に進めていきたい。 ・授業アンケートから板書の指摘がありましたので、今後はワークシートではなく、ノート指導などを徹底していきたい。			